



今月の主な内容

躍動！かるまい夏まつり…… 2～3
音更町子ども研修団が帰町… 4～5
平成19年度町成人式……… 6～7
交通死亡事故ゼロ1年達成… 8

親元を離れ将来の夢を追いかける者、地元に残って地域で活躍する者。進む道は違っても、ともに机を並べ学び遊んだ日々の思い出と友への気持ちは変わらないもの。立派に成長し「はたち」を迎え、新たな旅立ちのときでもある新成人に「おめでとう」を贈ります。（写真は、8月15日に町農村環境改善センターで行われた平成19年度成人式で記念撮影に挑む新成人。関連記事は6～7ページに掲載）



収穫の最盛期を迎えたホウレン草（写真は左から増尾良子さん、認定農業者の川島秋子さん、戸草内礼子さん）

鳥インフルエンザの流行、最も

国の農業政策は、新たに定めた食料・農業・農村基本計画に沿って、担い手（認定農業者と集落営農組織）に集中して実施することとしています。平成十九年から実施されている品目横断的経営安定対策を始め、国の支援施策は、この担い手に重点的に行われることが想定されています。農業者の皆さんは、ぜひ認定農業者となっていたら、経営の安定と安全・安心な畜産物の生産への取り組みを検討ください。詳しくは、町担い手育成総合支援協議会（役場・産業振興課内・46-4739）へご相談ください。

農業経営のスペシャリスト 認定農業者を目指しましょう

今、食への関心が非常に高まっています。

BSE（牛海綿状脳症）に

よる米国産牛肉の輸入禁止や鳥インフルエンザの流行、最

近では食品表示の偽造や賞味期限の改ざんなどが発覚し、社会問題となっています。

一方で国内食料自給率は低く、外国産食料の輸入に頼らざるをえない状況にあります。

こうした中、消費者の需要は、安全で安心な国内産農産物へ大きく変わりつつあります。

無農薬・有機栽培による農産物や確かな飼料を用いた畜産飼育など生産過程が見える農業が求められています。

認定農業者は、ぜひ認定農業者となっていたら、経営の安定と安全・安心な畜産物の生産への取り組みを検討ください。

詳しくは、町担い手育成総合支援協議会（役場・産業振興課内・46-4739）へご相談ください。

認定農業者制度とは

認定農業者制度は、自ら経営改善に取り組むやる気と能力のある農業者が、いわば「農業経営のスペシャリスト」を目指す「農業経営改善計画」を作成し、その計画を市町村が認定する制度です。

詳しくは役場までご相談ください

【Q】認定農業者制度とは

認定農業者制度は、自ら経営改善に取り組むやる気と能力のある農業者が、いわば「農業経営のスペシャリスト」を目指す「農業経営改善計画」を作成し、その計画を市町村が認定する制度です。

【Q】認定の対象者は

農業経営のスペシャリストを目指す意欲のある人であれば、性別、専業・兼業の別などを問わず、どなたでも認定を受けることができます。

【専業・兼業の別】兼業農家の方や、これから新規に就農しようという方でも、町の基本構想で示された農業経営を目指す方であれば認定の対象となります。

【経営規模・所得の大小】経営規模や所得の小さい農家でも、一定の収入が得られる農業経営を目指す場合は認定の対象となります。

【年齢・性別】一律の年齢制限は設けていません。地域の担い手の状況を踏まえて検討します。また男・女の別は一切問いません。家族経営協定等を結び、経営に参加している女性農業者なども、パートナーとともに認定の対象となります。

【営農の種類】水稲、麦、大豆等の土地利用型農業はもちろん、農地を持たない畜産経営や野菜などの施設園芸なども認定の対象となります。



ナニヤドヤラ流し踊り大会で最優秀賞に輝いた円子盆踊り保存会の皆さん



色とりどりの七夕飾りが商店街を飾りました（大町商店会）

商工会青年部が企画

三日からは七夕飾りや華やかなちようちんで商店街が彩られたほか、四日には町商工会青年部（小野憲部長）がイベントを企画。町物産交流館

とみちのく銀行軽米支店の駐車場を会場に、第一回軽トラ市が開催され、青果物や衣料品、飲食品など十四店舗の軽トラが並び、午後四時の開店とともに大勢の買い物客が訪れました。子どもたちは、かぶと虫ふれあい体験コーナーに詰め掛け、かぶと虫相撲大会に熱中していました。各商店街の路上を舞台にした創作太鼓の会「座・宇漢米」の演奏や、三団体百五十人によるよさこいソーランの競演

軽トラ市 賑わう！



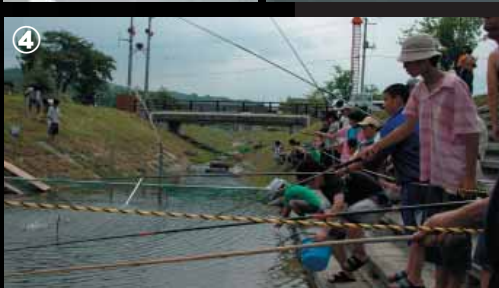
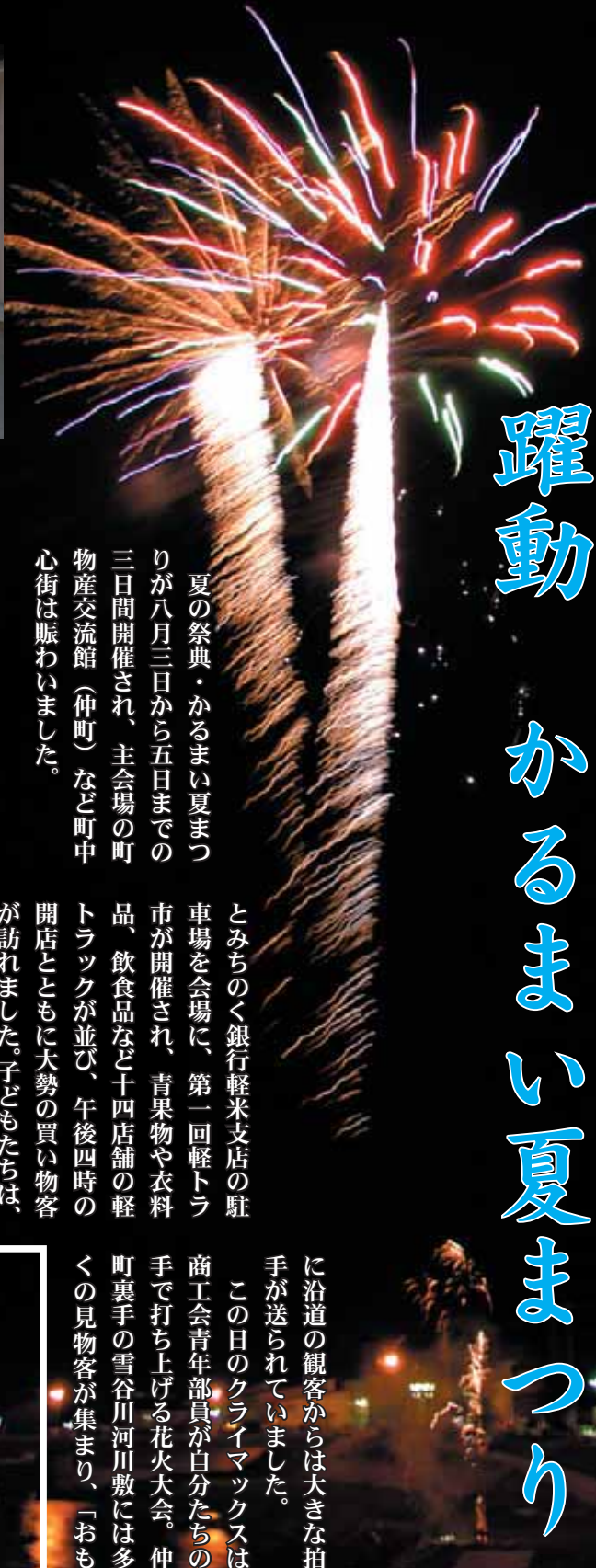
荷台がお店に早変わりの軽トラ市



ポコポコのショーを楽しみました

開店と同時に買い物客で賑わいを見せた軽トラ市は、八月四日には午後四時からの夕市で、九月二日には、あいにくの雨にもかかわらず多くの観客が訪れ、川原石絵描きコンクールや二人組のピエロ「ポコポコ」によるパントマイムや風船ショーを楽しみました。

躍動 かるまい夏まつり



①七夕飾りの明かりの中、9人の宇漢米太鼓衆が勇壮な演奏を披露 ②③躍動感あふれるナニヤドヤラ大会 ④坊里沢川に集ったニジマス釣り大会 ⑤軽米ソーラン愛好会など町内外の団体が競演したソーラン演舞

ちゃ」の名前以上に迫力ある花火を、すぐ目の前で楽しみました。

ナニヤドヤラに躍動

最終日の五日には、町防災センター近くの防里沢川で、ニジマス釣り大会（雪谷川を守る会主催）が開催され賑わいを見せました。

午後七時からは、祭りのフイナールを飾るカシオペア杯争奪ナニヤドヤラ大会を開催。町内外から集まった全十団体、総勢三百五十人あまりが、勇壮な太鼓のリズムと華麗な手踊りを競い合いながら町中心街を練り歩きました。

審査の結果、最優秀賞には円子盆踊り保存会が輝いたほか、町内からは山内盆踊り保存会と晴山菊の里ナニヤドヤラ愛好会に特別賞が贈られました。

出会いと感動を いつまでも大切に

平成十九年度の姉妹町・音更町との子ども視察研修が行われ、音更町での研修が七月二十七日から三十日まで、軽米町での受け入れが八月七日から九日までそれぞれ実施されました。軽米町の研修団二十二人と音更町の研修団二十二人の子どもたちはホームステイなど通じて、互いの町の文化や歴史、生活習慣、地形や気候などを体験。一週間にわたって見て・触れて・食べて・感じた子どもたちの感想をご紹介します。



初対面の音更町での歓迎式（7月28日）



広い大地に
びっくり

つるがい ともき
鶴飼 智騎 くん
笹渡小5年

音更町では、木皿卓治くんの家に民泊しました。ジャガイモや小麦、ビートなどを育てている農家で、外国製の大きなトラクターとコンバインを近所の人とお金を出し合って、みんなで収穫しているそうです。土幌高原ヌプカの里では、日高山脈や十勝平野を見渡すことができ、軽米町とは違う広さと大きさを感じました。今度は卓治くんを軽米町に迎えることになり、ぼくの知っている軽米町や周辺を知ってもらいたいと思いました。種市の海や久慈市の水族館、博物館に行ったり、キャッチボールもしたりして卓治くんも楽しそうでした。今回経験したこと、卓治くんとの出会いを大切にしていきたいです。



音更町発祥の地記念碑を見学しました（7月30日）



ずっと交流
を続けたい

しもまた りか
下又 理香 さん
軽米小6年

音更町に行って学んだこと。一つ目は、合浦みのりさんの家に泊まったことです。初対面の人の家に泊まるのは初めてでとても良い経験でした。二つ目は北海道ならではの大きい畑。軽米の田んぼや畑しか見たことが無かったので「これぐらいが普通だよ」と言われてびっくりしました。さらにハートフル競技場のトラック2つ分以上もある畑に、トウモロコシやジャガイモなど1種類しか植えないことにも驚きました。三つ目は花畑牧場です。牧羊犬や世界一小さい馬と大きい馬など初めて見る動物。乳搾りでは「きみうまいねえ」と言われて嬉しかったです。この研修で、みのりさんに会えて良かったです。もっともっと音更町との交流を深めていってほしいです。

町立図書館玄関に スロープが 設置されました



町立図書館の入り口部分にスロープが取り付けられました。約30センチの段差があった土間と館内床部分に、2.5%四方の傾斜路を設置したもので、車いすやベビーカーなども押して上がることができます。また表面には滑り止めが張られているので、小さなお子さんでも安心してご利用いただけます。

健康福祉課・福祉グループが、県立軽米病院となりの町健康ふれあいセンターに8月6日から移っています。町立保育園などの入園手続き、児童手当の請求、高齢者福祉、障害者福祉などの各種手続きを受け付けています。お問い合わせは直通46-4736、又は健康ふれあいセンター46-4111までご連絡ください。



健康福祉課福祉グループの事務室が
ふれあいセンター内に移動しました

千夏ちゃんに また会いたい



ゆとう かすい
湯藤 華穂 さん
音更町立駒場小5年
(写真左が湯藤さん、右は高橋千夏さん)

初めてフェリーに泊まって、軽米町に到着。ミル・みるハウスでお昼を食べ、お土産を買いました。歴史民俗資料館には、年表や石器があり「すごいな」と思いました。かぶと虫ランドのある雪谷川ダムフォレストパーク・軽米で風車を見ました。大きかったです。軽米町での歓迎式で、（音更町でわたしの家に一緒に泊まった）高橋千夏ちゃんを見て元気そうで良かったです。その日の夜はなかなか眠れませんでした。2泊目はミレットパークに泊まりました。最初は千夏ちゃんたちと泊まるはずだったけど、台風の影響で一緒に泊まれなくなってしまい残念でした。千夏ちゃんとはまた会いたいし、軽米町にも行ってみたいです。

この研修は
一生忘れない



かつの りょうすけ
勝野 凌介 くん
音更町立柳町小5年
(写真左が勝野くん、右は神山敏夫くん)

ぼくの家に泊まる軽米町の神山敏夫くんには会ったことがなかったですごく緊張していたけど、すぐに友達になれました。音更町では夜の動物園やプロ野球を見に行きました。今度はぼくが軽米町に行く番になり早くトシに会いたいと思いました。トシの家は8人家族。お父さんはプロイラーをやっていて、鶏舎の中を特別に見せてもらいました。おじいちゃんとおばあちゃんは訛っていて英語みたいに聞こえました。この研修のことは一生忘れないと思います。軽米町と音更町の違いを勉強したり、たくさん友だちができ、いろいろな体験ができました。大人になったらもう一度軽米町に行きたいし、トシにも会いたいです。



音更町の子どもたちと一緒に訪れた十勝が丘公園の花時計（7月30日）

1 日行政相談を10月17日に開催 お気軽にご利用ください



行政相談委員
杉浦 勇五郎さん

- 日時：10月17日（水）
午前10時～午後3時
- 場所：町農村環境改善センター
2階会議室（役場となり）
- 相談内容：国の仕事や手続き、サービスなどについて、要望や不満などご相談ください

【問い合わせ先】行政苦情110番（☎0570-090110）
または役場・総務課情報防災グループ（☎46-2111）

沖永文化振興財団から 山内神楽保存会へ

平成19年3月



朱色を基調にした色鮮やかな
三番叟の衣装

山内神楽保存会（工藤敬一会長）に、財団法人沖永文化振興財団から三番叟の衣装二着が寄贈されました。同会は一時途絶えていた山内神楽を復活させようと昭和五十一年に結成。以来、地域の小学生を巻き込んだ伝承活動と、演目の復活などに積極的に取り組んでいます。今回は、未整備だった三番叟の衣装を新調。山内神楽の演目にまた一つ華麗な演目が加わります。

神楽の伝承活動への支援 ありがとうございます



中央の権現頭と衣装一式
が贈られました

ニッセイ財団から 平成19年8月 沢田神楽保存会へ

沢田神楽保存会（工藤和男会長）に財団法人日本生命財団から神楽用具が寄贈されました。同会では、小学生に剣舞や鶏舞を、中学生からは権現舞をそれぞれ伝承してきました。今回は、中学生用として軽くて丈夫な桐製の権現頭と神楽衣装一式を整備。8月下旬から始まった小中学生の練習で初披露され、子どもたちは早速、身に付けて指導を受けていました。

オータムジャンボ宝くじは10月1日(月)発売

この宝くじの収益金は、市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など福祉の向上に使われています。

☆発売期間：10月1日～19日
☆抽選月日：10月24日(水)
☆賞金
・1等・1億5,000万円
・1等前後賞・各2,500万円
・2等・1,000万円

夢と希望にあふれ 地域社会への貢献を誓う

平成19年度町成人式



新成人104人が誓いを新たに



平成十九年度の町成人式が八月十五日、町農
村環境改善センターで開催されました。二十歳
という人生の節目にあたり、晴れやかな衣装で
式典に臨んだ新成人百四十人は、真の社会人とし
ての自覚と決意を胸にしていました。



代表謝辞を行った神山
健一さん



式典に出席した104人の新成人の皆さん

式典では、出席者全員で町
民憲章の唱和を行った後、新
成人者を紹介。司会を務めた
高校生スタッフによって、新
成人一人ひとりの名前が読み
上げられました。

激励しました。
新成人を代表して神山健一
さん（牛ヶ沢）が「皆さんか
らのお祝いと励ましの言葉を
胸に、これからの人生をしっ
かりと生きていきたい。これ
からの軽米、そして日本をリ
ードしていくんだとの気持ち
で、明るい将来を築いていき
たい」と新成人としての誓い
を述べました。

新成人には、町と町選挙管
理委員会からお祝いの記念品
が贈られ、また学生時代の恩
師などからの祝電も披露され
ました。

式典終了後のアトラクシヨ
ンで創作太鼓の会座・宇漢米
が「祝い太鼓」などを披露。

力強い演奏で晴れの門出に花
を添えました。

最後には、新成人全員の記
念写真を撮影。真新しい背広
や、華やかなドレス姿の新成
人が会場内のあちこちで写真
撮影や友人との再会に会話を
はずませていました。

会場を瀧村屋に移して、新
成人による実行委員会（神山
健一会長）が企画した恩師を
囲む会を開催。中学・高校時
代の恩師らを迎え、立派に成
長した姿を見せながら思い出
話に花を咲かせていました。



式典のスタッフとして活躍した県立軽米高校
の皆さん

式典を支えた軽高生スタッフ

式典当日の受け付けや司会
進行などは、ボランティアス
タッフとして参加した県立軽
米高校（高橋光彦校長、生徒
三百十一人）の三年生十四人
が務めました。事前にフリー
アナウンサーの後藤のりこさ
んを講師に迎え、話し方教室
を開催するなど、先輩方の晴
れの舞台を支えようと約一カ
月かけて準備。見事に大役を
果たしました。



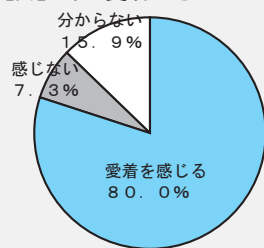
2007
成人式
フォト
スナップ



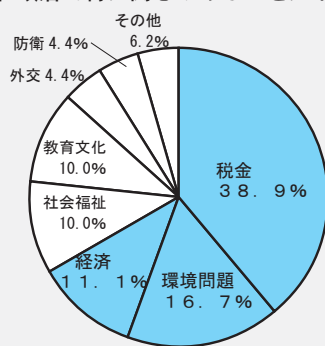
新成人意識アンケート

成人式に出席した104人のうち58人の方から新成人意
識アンケートに回答いただきました。政治で最も関心
のあるのは「税金」、普段の楽しみは「読書・テレビなど」
となっています。また8割の方が「町に愛着がある」と
する一方で、「町に住みたいか」には4割の方が「住み
たい（住み続けたい）」と「なんとも言えない」にそれ
ぞれ回答しています。

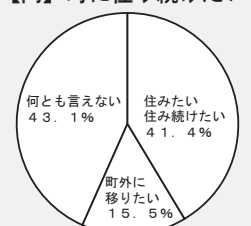
【問】町に愛着を感じていますか？



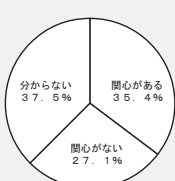
【問】政治で特に関心のあることは？



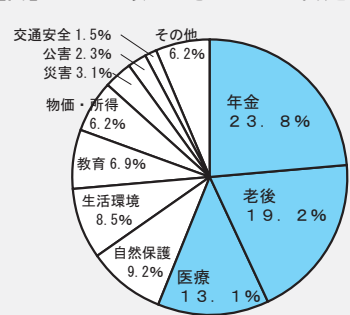
【問】町に住み続けたいですか？



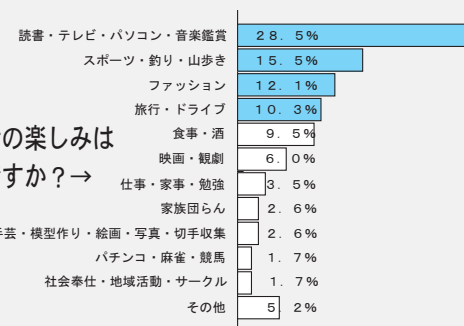
【問】政治に関心が
ありますか？



【問】日ごろ身近に感じている問題は？



【問】
生活の楽しみは
何ですか？



生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

秋の全国交通安全運動
－9月21日～30日－

●運動の重点活動

①高齢者の事故防止

高齢者による道路横断時の交通事故が増えているほか、自宅から近いところで発生しています。道路を横断するときは、必ず立ち止まり左右の確認を行いましょう

②飲酒運転「4」ない運動

軽い気持ちでの飲酒運転が、取り返しのつかない重罪に繋がります。「運転するなら飲まない」「飲んだら乗らない」「運転手には勧めない」「飲んだ人には運転させない」を徹底しましょう

③夕暮れ時の事故防止

夕暮れが早まる時期です。ライトの早め点灯を心掛けましょう。夜間の運転はライトの照らされる範囲に限られます。歩行者や自転車の方は、明るく白っぽい服装や夜光反射材を着用しましょう

④後部座席を含むシートベルトを着用しましょう

県内での後部座席のシートベルト着用率がとても低くなっています。チャイルドシートとともに正しく使用しましょう

7月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

▶町内の交通事故

	当月（累計）	昨年比
人身事故	1件（9件）	±0
死亡者	0人（0人）	±0
負傷者	1人（15人）	±0
物損事故	6件（75件）	+11

▶救急車の出動回数

17回（214回） +13

▶飲酒運転検挙者

（行政区）	（年代）	（性別）
上野場	20代	男性



菅原 皓文さん

岩手大学教育学部卒業。岩手県教育委員会に採用後、二戸市立福岡小教頭などを歴任。02年晴高小校長で退職。下新町行政区。65歳。

町教育委員長に 菅原皓文さんを選任

八月十七日に開催された町教育委員会臨時会で、町教育委員長に菅原皓文さん（下新町、六十五歳）が選任されました。任期は本年八月十七日から一年間です。菅原さんは、同日開催された町議会臨時会で、町教育委員への任命に同意されていました。

Welcome to Karumai！（ようこそ軽米へ！）



英語指導助手に着任した
エリザベス・ディレイシーさん

新しい町英語指導助手にエリザベス・ディレイシーさん（アメリカ合衆国オレゴン州出身、二十三歳）が着任し、八月三日に町役場で辞令交付が行われました。エリザベスさんは、主に中学校の英語の授業を担当します。日常会話程度は日本語で話せるエリザベスさんは「日本の料理を覚えるのが楽しみです。日本語で良いので気軽に声をかけてね」と笑顔で話していました。

八月十四日で町内での交通事故の抑止一年間を達成した町に十七日、岩手県警察本部長からの賞賛状と顕彰盾が伝達されました。

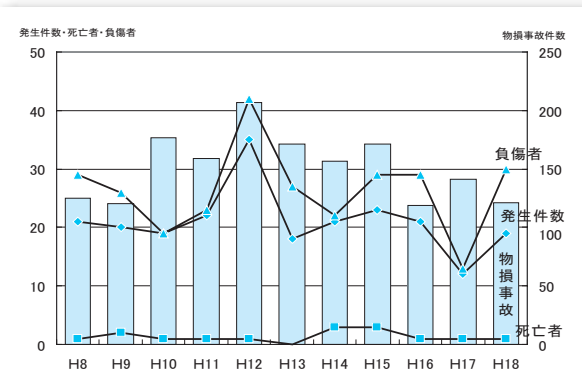
辰男隊長が出席。青柳晃二戸警察署長が「交通事故ゼロの一年達成おめでとうございます。更に記録が続くよう期待しています」と賞賛状を伝達。山本町長が「町交通安全対策協議会と交通安全協会軽米分会、交通安全母の会の皆さんの活動と、二戸警察署、軽

米駐在所など関係機関の皆さんの協力のもと達成できた。二年達成に向けて、一日ずつさらに積み重ねていきたい」と喜びを話しました。町内での交通事故の抑止は、八月十四日で九一年を達成。最近では、平成十八年一月に一年間の死亡事故ゼロを達成しています。



【左から】工藤育子町交通安全母の会連絡協議会長、田中辰男町交通指導隊長、山本賢一町長、青柳晃二戸警察署長、伊王野良二戸地区交通安全協会会長、圃田喜一二戸地区交通安全協会軽米分会長

町内での事故発生の状況（H8～H18）



1年間交通死亡事故ゼロを達成

一つひとつの活動が実を結び

交通事故防止への取り組みをご紹介します

交通安全の旗振り役に――

県北部特定郵便局長会九戸部会が 交通安全のぼり旗50枚を寄贈



県北部特定郵便局長会九戸部会（部会長・佐藤幸夫晴山郵便局長＝写真左）から町に交通安全啓発用ののぼり旗50枚を寄贈いただきました。8月7日に町長室を訪れた佐藤部会長は「ミル・みるハウス前の交差点など、町内でも目に見えて交通量が増えてきている。町の交通事故防止に役立ててほしい」と山本町長に手渡しました。



ラクターの交通マナー向上を

町交通安全対策協議会（会長＝山本賢一町長）では、地区や小中学校などで交通安全教室を開催しています。特に最近、小中学生の自転車マナーの低下やお年寄りの電動カー（ラクター）の危険な走行などが目立っていて、軽米駐在所などと協力し交通マナーの向上に取り組んでいます。（写真は、6月14日に上館地区で行われた交通安全教室）

軽米・南郷合同キャンペーン

町と八戸市南郷区の各交通安全協会合同の第10回交通安全活動が8月12日、町道参勤街道線の南郷区境付近で行われました。「気をつけて運転を」などと呼びかけながら啓発。圃田喜一同協会軽米分会長は「夏休みやお盆は交通量が増える。地域の中でも交通安全への声掛けをお願いします」と気を引き締めていました。



交通指導隊が広報パレード

二戸地区4市町村の交通指導隊による巡回広報指導の出発式が8月10日、指導員16人が集まって町役場前で行われました。町交通指導隊長の田中辰男さんが「交通死亡事故の根絶をめざし啓発活動に取り組みます」と決意表明。その後街宣車で広報しながら、町内の巡回や街頭での啓発活動などを行いました。

軽米を第2の故郷に 国を越え心の交流



ホームステイ最終日となった8月26日の夜、町農村環境改善センターでお別れ会が開かれました

東京外国語大学に留学中の外国人学生十四人が町内での九日間のホームステイを終え、八月二十六日に家族とお別れ会が農村環境改善センターで行われました。

町生涯学習推進本部長の山本賢一町長が「ホストファミリーの皆さんにはたいへん感謝します。皆さんから楽しかったとの話を聞いて喜んでい。今後も交流を続け、さらに発展させていって下さい」と話し、留学生一人ひとりに記念品を手渡しました。

八月十八日から二十六日までのホームステイ中は、町内の小中高生が留学生の受け入れ先となり、自宅で一緒に過ごしたり、自分の通う学校と一緒に登校するなどしました。手打ちソバや剣道を体験する機会も設けられ、軽米の文化にも触れていました。



剣道の礼儀作法も体験した留学生の皆さん

ホストファミリーとのふれあい、学校生活などを通して日本や軽米町の文化や生活様式を肌で触れた学生は、慣れない日本語で「一週間は短かった」「このプログラム（ホームステイ事業）に感謝したい」「また軽米に来たい」などの感想を話していました。



下谷地忠一さん（右）家族と留学生のズウォンさん（左から3人目）

下谷地忠一さん（下谷地渡）

何とかなるだろうと引き受けたホストファミリー。いざとなると食べ物や言葉、仕事も忙しい時期と重なるなど不安になりました。わが家にやってきたのは可愛らしいベトナム出身のズウォン。なぜか背丈が、わが家にピッタリでした。食事と言葉は何とかクリアできたが、農作業に追われ十分に話しをする時間がなかったことが一番の反省点でした。お別れの会当日、彼女は「留学生の他のみんなはすごく優秀なの」と寂しげな言葉をつぶやき、別れの時には「お父さん元気で。お父さんは強いよ」と何度も言いながら涙を拭いていた姿を見ていて、もっともっと話しをしたり、励ましてあげればよかったと心の中で謝りました。何かをやり残したような気分です。彼女は必ず夢をかなえ世界で活躍するはず。」「ガンバレ」と贈りたいです。

川島智彦さん（下増子内、軽米高2年）

うちに来た留学生は、ブルガリア出身のマルティンさん。日本語は、4月に日本に来てから習っているそうですが、数カ月たらずで会話ができるほどなのでかなり努力しているなあと思いました。ほかにも、分からないことがあるとすぐ電子辞書などで調べてメモを取ります。マルティンとは「智彦はわたしの日本語の先生。わたしは智彦の英語の先生」と言いながら毎晩が勉強会でした。最も尊敬することは、ぼくと4歳しか違わないのに母国を離れ、別の国へ勉強しに来ていることです。自分には考えられないことで、マルティンの頑張っている姿を見ると、自分もっと勉強し将来に向けて頑張ろうと思いました。



川島智彦さん（右）と留学生のマルティンさん

ジャンさん（シンガポール）



留学生のジャンさん（右）とホストファミリーの新井田剛志くん

軽米でのホームステイに向かう深夜バスでドキドキして、眠れなかった。しかしそれは時間が解決してくれた。美味しく新鮮でぜいたくな食事など。一番感心したのは人の優しさや親切さです。新井田ファミリーでは、互いに協力したり援助したりすることに誇りを持っていると感じました。軽米高校では生徒と一緒に会話や遊んだり、笑ったり、勉強したりして自分も高校生に戻ったような気分でした。軽米の皆さんと新井田ファミリーには、言葉では言い表せないほどの感謝でいっぱいです。ありがとう。

第21回並岡旗争奪剣道大会・中学校男子

軽米中Aが2年優勝

第二十一回並岡旗争奪剣道大会の高等学校大会が八月十一日、少年剣道大会が八月二十六日にそれぞれ町民体育館で開催され、少年剣道大会の中学校男子の部で軽米中Aが優勝を飾りました。

軽米中Aは、準決勝、決勝ともに三対〇と危なげない試合運びで勝利を収め、二年ぶり八回目の栄冠を掴みました。主将の菅波樹くん（二年）は「試合はどれも思うような試合運びができて満足している。秋の県新人戦では優勝を



【後列左から】長内拓、坂本隆磨（以上1年）、菅波永（2年）【前列左から】菅波樹（2年）、小笠原慎二（1年）、顧問の大森迪子先生（敬称略）

めざす」と気を引き締めて稽古に励んでいました。大会結果は次のとおりです。

【小学校の部】

- ①三沢少年剣道隊A（三沢市）
- ②三沢スポーツ少年団（三沢市）
- ③三沢少年剣道隊B（三沢市）、晨武館（花巻市）

【中学校・男子の部】

- ①軽米中A ②千徳練武館（宮古市） ③福岡中A（二戸市）、一刀塾（八戸市）
- 【中学校・女子の部】
- ①南部中（南部町） ②花巻北中（花巻市） ③湯本中（花巻市）、一刀塾（八戸市）

【高等学校・男子】

- ①花巻南高A ②盛岡南高 ③福岡高、盛岡四高
- 【高等学校・女子】
- ①盛岡南高 ②青森北高 ③盛岡北高、福岡高

坂本隆磨くん個人戦で 全国中総体に出場！

中学校総合体育大会岩手県大会の剣道競技個人戦に出場した坂本隆磨くん（軽米中一年）上写真の後列中央）が準優勝し全国大会に出場しました。三年生も出場する中、一年生の坂本くんは次々と勝利



全国大会開会式に臨む岩手選抜チームの選手（2列目左が佐々木くん、前列右が山田くん、平成19年8月3日、静岡県志太スタジアム）

佐々木隆くん（軽米中3年）・山田健人くん（小軽米中3年） 岩手選抜チームで全国大会に出場

静岡県伊豆市などを会場に八月四日から四日間開催された第七回全国中学生Kボール野球選手権大会で、岩手選抜チームに選ばれた佐々木隆くん（軽米中三年）と山田健人くん（小軽米中三年）が出場。選抜チームへの選出と全国大会を経験した二人に話を聞きました。



やまだ けんと 山田 健人 くん（小軽米中3年）9番・セカンド

選抜チームに選ばれたときはとてもびっくりしたし、試合にもショートで出場できて嬉しかったです。自分のセールスポイントは打撃だけど、3試合でヒットは2塁打1本だけ。自分ではもの足りなく、悔しかったです。今回、岩手選抜チームに選ばれて全国レベルの試合を経験できたことは、自分にとって大きな自信になりました。次は、オール軽米として中学では最後となる10月の大会をがんばりたい。そして高校進学後も野球を続けていきたいです。



ささき たかし 佐々木 隆 くん（軽米中3年）6番・ショート

岩手選抜チームに自分が選ばれたことを聞いたときには驚きと嬉しさと両方でした。またレギュラーとして出場できて良い経験になりました。予選リーグで唯一負けた船橋戦では全国レベルの強さを感じましたが、あとの2試合は大きな差は感じなかった。個人的には、無失策とヒット1本の結果にはだいたい満足している。中学最後となる10月の大会には県内の強豪が集まると思うが、今回の岩手選抜チームでの全国大会の経験を生かし、オール軽米として上位を狙います。

軽米勢が優勝・準優勝を獲得

【優勝】軽米
【準優勝】米田

第二十一回県北ゲートボール大会（町ゲートボール協会主催）が八月二十六日にハートフル・スポーツランド多目的ひろばで開催され、軽米チームが優勝、円子チームが準優勝しました。

岩手県内と青森県南から



（左から）優勝の軽米チームと準優勝の米田チーム

第11回町長杯PG大会 軽米勢が上位を独占！



第十一回町長杯パークゴルフ大会が八月十九日、町内外から約九十人参加してハートフルパークゴルフ場で行われ、上位を男女とも軽米勢が独占しました。上位三位までの結果は下記のとおりです。

【男子】

- ①須藤昭夫（桜山）90打
- ②大崎英博（萩田）92打
- ③木村貢（上新町）95打

※表示は、左から○順位、氏名、住所、36ホールの総打数
※同じ打数の場合には、プレーオフで順位決定

【女子】

- ①田沢サツ子（門前）102打
- ②大崎チエ（萩田）104打
- ③岩間真佐子（三戸町）104打

町長杯PG結果

元全日本コーチからの厳しい檄 榎本コーチに学ぶ バスケットボール教室



榎本コーチ（左）の大きな檄が響いた町民体育館を会場に汗を流しました

元全日本チームのヘッドコーチも務めた榎本日出夫さん（東京都出身、六十六歳）を講師に迎えたカシオペアバスケットボール教室が八月四日、町民体育館で開催されました。町内外から約百五十人の小中高生が参加。ウォーミングアップからシュートまで年齢に関わらず同様の練習方法で汗を流しました。榎本さんは、午前と午後合わせて六時間にわたり、大きな声で檄を飛ばしながら指導。選手は、中身の濃い充実した練習に真剣に取り組んでいました。

四子学童相撲・平成19年夏場所 裸の勝負にのったのった



第二十八回円子地区学童相撲大会が八月十三日、円子小相撲場で開催されました。同小学校の一年生から六年生の男子児童二十一人は、ま

学年別リーグ戦の優勝者

（敬称略、写真前列右から）

- 【1・2年生】野中 謙
- 【3年生】大崎拓真也
- 【4年生】小林真也
- 【5・6年生】福田文幸

試合は、学年別にリーグ戦形式で実施され、力の押し合いや三分でも決着がつかずに水入り・再試合となる好取組がいくつも展開されました。お盆で帰省中などの観客約百人からは、大きな拍手と声援が送られていました。

歓声を背に受け 記録に挑戦！

第三十一回町小学校水泳記録会（町学校体育連盟主催）が八月一日、小軽米小プールで開催されました。全三十二種目に延べ三百七十二人が選手登録。各校を代表した選手たちは、応援に後押しされながら日ごろの成果を発揮し、懸命にゴールをめざしていました。

各種目の優勝者と記録は、下記のとおりです。

◆種目別の優勝者と記録◆（敬称略）

◇150mメドレーリレー

- 【女子】軽米小（高橋幸恵、下斗米七瀬、荒川愛海）2分36秒5
- 【男子】軽米小（山田健太、日山拓海、圃田直哉）2分29秒3

◇200mリレー

- 【女子】軽米小（荒川愛海、安藤美香、下斗米七瀬、松本和乃）2分59秒4
- 【男子】軽米小（圃田直哉、山田健太、小笠原涼太、獅子内冬威）3分06秒7

◇自由形

- 【5年女子25m】木戸口真希（小玉川小）23秒6
- 【5年男子25m】橋場 大弥（軽米小4年）19秒4
- 【5年女子50m】下斗米七瀬（軽米小）43秒1
- 【5年男子50m】戸草内 翔（軽米小）45秒9
- 【6年女子25m】松浦 美希（円子小）24秒6
- 【6年男子25m】道野下 薫（山内小）22秒5
- 【6年女子50m】荒川 愛海（軽米小）45秒6
- 【6年男子50m】板橋 大哉（小軽米小）41秒4
- 【6年女子100m】荒川 愛海（軽米小）1分42秒4
- 【6年男子100m】圃田 直哉（軽米小）1分44秒0

◇背泳ぎ

- 【5年女子25m】安藤 美香（軽米小）24秒5
- 【5年男子25m】泉山 脩斗（円子小4年）26秒5
- 【5年女子50m】高橋 幸恵（軽米小）57秒8
- 【5年男子50m】小笠原涼太（軽米小）58秒9
- 【6年女子50m】小平美紗希（山内小）57秒3
- 【6年男子50m】山田 健太（軽米小）51秒3
- 【6年女子100m】小平美紗希（山内小）2分11秒2
- 【6年男子100m】清藤太壱（小軽米小）2分02秒9

◇平泳ぎ

- 【5年女子25m】戸田沢ひなの（山内小4年）37秒4
- 【5年男子25m】関 隆登（山内小）33秒8
- 【5年女子50m】下斗米七瀬（軽米小）57秒6
- 【5年男子50m】日脇 拓実（軽米小4年）1分01秒4
- 【6年女子50m】田代 千帆（山内小）56秒9
- 【6年男子50m】日山 拓海（軽米小）56秒5
- 【6年女子100m】笹山 幸乃（山内小）2分18秒2
- 【6年男子100m】日山 拓海（軽米小）2分03秒5

◇バタフライ

- 【女子25m】坂上 知春（山内小6年）23秒5
- 【男子25m】獅子内冬威（軽米小6年）24秒2

新JAS法認定の醤油工場

大黒醤油株が

全国認定第1号に



JAS適合の認定証と復活の「しらぎく」と「ことぶき」を手にする坂本社長

大黒醤油株式会社（坂本剛社長）が新JAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）の適用後、全国で初めて新JAS規格に適合した醤油工場として七月三十一日に認定されました。坂本社長は「今回の認定とともに秘伝のもろみも復活できて二重に喜んでいる。これからより一層おいしくて安全・安心な良い商品を皆さんにお届けしていきたい」を意欲をみせていました。



見事な飛び込みでスタートした6年男子50m自由形

ふれあい看護を一日体験



日常会話も患者さんの状態を知る大切なコミュニケーションの一つとして実感していました

カシオペアふれあい看護体験が七月三十一日、県立軽米病院で行われ、軽米高生九人が看護師体験を行いました。白衣を身にまとった生徒は、車いすを押したり手足を洗うなどのお世話や会話での意思疎通など、主に患者さんとのコミュニケーションを体験。生徒は緊張した様子でしたが、徐々に慣れて笑顔で接していました。「看護師は、何でもやらなければならぬ、いへんな仕事だよ」との患者さんの言葉に気を引き締めて仕事にあたっていました。

お母さんから学ぶ菓子づくり

山内小学校（菊地孝校長、児童五十六人）で八月三日、雑穀を使ったおやつ作り教室が開催されました。二年生以上の女子児童十五人に母親と先生も参加。粒状のイナキビが入ったババロアと、アマランサスの食感が楽しめる蒸しパン「鬼まんじゅう」作りに挑戦しました。三角巾にエプロン姿の子ども達は、お母さんに作り方を聞きながら、材料を切ったり混ぜたり盛り付けたりと手際よく調理。完成品をみんなで試食して出来栄を確かめていました。



大きさや形など材料の切り方を聞きながらみんなで楽しくおやつ作りに励みました

大学生と小生が夏休み交流



勤労福祉センターで開催された影絵劇を楽しんだ子どもたちと岩手大SMILEのメンバー

町出身大学生五人と岩手大学影絵サークル「SMILE」の会員が講師を務めた放課後子ども教室「学びの場」が八月七日と八日、町内七か所で行われました。各教室では「美術で学ぶ」「英語で話す世界の国々」などをテーマに学生が大学で学んだことを子どもたちに指導。東山彩香さん（門前、東北大一年）は「リーダー書道などゲーム感覚を取り入れ工夫しました。子どもたちが目を輝かせて興味を示してくれて貴重な体験でした」と成果を話していました。

図書館ひろばがやって来た

町内の保育園などを巡る出前図書館ひろばが全五カ所、八月九日まで開催され、園児らが紙芝居やアニメ映画の上映などを楽しみました。毎月第四土曜日に旧生活文化博物館で行われている図書館ひろばを、もっとたくさんの子どもたちに届けようと企画。読み聞かせのボランティアスタッフによるお話しに園児らは引き寄せられるように熱心に聴いていました。移動図書館「やまなみ号」も巡回し、園児らはお気に入りの一冊を楽しそうに選んでいました。



紙芝居や絵本の読み聞かせを静かに聞き入る観音林児童館の園児たち

来町の達増知事に支援を要望

達増拓也県知事が八月一日に来町し、町の課題や要望を聞く懇談会が町防災センターで開催されました。田山清三戸地方振興局長など県の関係者約二十人も出席。防災や道路基盤の整備、産業振興など十一項目について、山本賢一町長が町への支援を要望しました。達増知事からは、企業誘致への支援策として税の軽減などが受けられる特定区域条例の活用が示されたほか、特産品開発への話題も出るなど、町の現状と課題への理解を深めていました。



山本町長（手前右）から達増知事（左）に町の課題などが説明されました

晴中生の福祉の心いつまでも



施設利用者とのコミュニケーションにも熱心に対応する晴山中の生徒

晴山中学校（福嶋敦史校長、生徒九十七人）で八月二十四日、全校一斉で行う福祉活動が行われました。二十二日からの二年生によるキャリア・スタート・ウィーク活動に加え、この日は一・三年生もごみ拾いや高齢者体験、福祉施設の訪問などを実施。介護や介助の仕事を体験した久保田颯晴くん（二年）は「お世話した利用者の方からお礼を言われて嬉しかった。働く職員の方のたいへんさも実感できた」と貴重な体験を喜んでいました。

昭和60年10月31日姉妹提携 音更町だより

子育て支援センターすずらんで、親子あそびの広場「七夕かざりをつくろう」が7月24日に行われました。参加した親子10組は、2種類の「七夕かざり」作りに挑戦。色紙や千代紙を使って、色とりどりの飾りを一生懸命に作りました。



わたしの七夕飾りきれいでしょ



健康福祉課
主事補
玉館博一

皆さんは、献血についてどれくらいご存じでしょうか。

献血は成分献血と全血献血に分けられます。成分献血は、血液中の血小板や血漿（けっしょう）だけを採取する方法で、時間は約60分ぐらいかかりますが、体への負担が少ない方法です。

全血献血は、血液のすべてを献血する方法で、400ミリリットル献血と200ミリリットル献血があります。

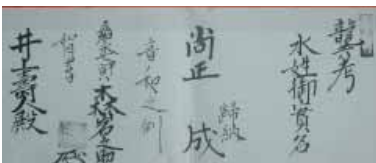
献血によっていただいた血液は、輸血などに使用されます。実際の医療機関からの供給依頼は、輸血を受ける患者さんの安全性を高めるため、ほとんどが成分献血と400ミリリットル献血になっています。血液は、人工で作ることができません。そのために、献血は必要不可欠なものになっています。輸血を必要としている人のために、献血というボランティアにご協力をお願いします。



◆プロフィール◆
 【氏名】 Elizabeth DeLacy
 (エリザベス・ディレイシー)
 【国籍】 アメリカ合衆国
 【略歴】 アーラム大学卒
 2007年8月3日に町の英語指導助手として着任。
 本を読むことが好き。

リズィーのからまい日記

Humiko: What is your name?
 文子: 名前は何ていうの?
 Lizzy: Elizabeth DeLacy, but everyone calls me Lizzy. If you see me, please call me Lizzy.
 リズィー: エリザベス・ディレイシーだけど皆はリズィーって呼ぶの。わたしに会ったらリズィーと呼んでください。
 Humiko: When did you come to Japan?
 文子: 日本にはいつ来たの?
 Lizzy: July 29th. I stayed in Tokyo for 3 days.
 リズィー: 7月29日です。東京で3日間過ごしました。
 Humiko: What did you think of Tokyo?
 文子: 東京はどうだった?
 Lizzy: I liked it, but it's very large and crowded. I think like the country much better.
 リズィー: 好きだけど大都会でとても混雑してるので、わたしは田舎の方がずっと好きです。
 Humiko: Did you just graduate from college?
 文子: 大学を終わったばかりなの?
 Lizzy: Not exactly. I graduated from college in 2006. Last year I was in graduate school studying to be a teacher.
 リズィー: いいえ、大学は2006年に卒業したんです。去年は大学院で先生になるための勉強してたんです。
 Humiko: Of English?
 文子: 英語の先生?
 Lizzy: No, of math and history, although some of my American students could have used a few English lessons ... I also taught a Japanese club once a week.
 リズィー: いいえ、数学と歴史よ。わたしが教えたアメリカ人の生徒は、たまに英語も習う必要があったみたいだね。日本語クラブの生徒に週一で日本語も教えたの。
 Humiko: You taught Japanese?
 文子: 日本語を教えたの?
 Lizzy: A few students found out I'd studied Japanese and asked me to help them study. A lot of American high school students are very interested in Japan. I'm still learning Japanese, so I'm afraid I made a poor teacher.
 リズィー: 日本語を勉強してるのが一部の生徒に知れて、教えてくれて頼まれたの。アメリカの多くの高校生が日本にとっても興味を持ってるのよ。わたしは今でも日本語を勉強中だから、あまり上手な先生じゃなかったと思うけど。
 Humiko: Well, thank you so much for talking to me.
 文子: いろいろ教えてくれてありがとう。



「花押の印影」

井上氏百五十石の知行地は、軽米五十五石、上館五十一石、江刺家四十二石。本町の井上鮮魚店さんはその後裔(子孫)である。
 (町古文書解説会)

笑顔あつまれ！ みんなの広場

我が家の人気者 すこやかさん



にしだて
 西館すみれちゃん(3歳3カ月)
 愛称: スーちゃん
 (上新町) 良孝さん・美香さんの長女

とっても活発なスーちゃんは、記録的な猛暑にも負けずに、毎日元気に飛び回っています。近ごろは何でも一人でできるようになってお料理や掃除など、ママのお手伝いをたくさんしてくれます。大好きなパパとは一緒に釣りに行くお休みの日を心待ちにしています。

夢・希望・えんぴつ

わたしが通っている小軽米小学校では一年に二回「クリーンアップ運動」を行っています。これはわたしたちに学校の周辺をきれいにするために、行っている道路のごみ拾い活動です。

わたしが一年生だった頃は、ごみを拾うことがおもしろくて、大きなごみ袋いっぱいになるくらいにたくさんのごみを拾いました。

三・四年生の頃は、ごみが地球の環境に悪い影響を及ぼしていることを知り、それまで以上に真剣にごみを拾うようになりました。

今月の雑穀献立

そばの実餃子



【材料】 4人分
 ・ソバの実……………50g
 ・ニラ……………5本
 ・シイタケ……………5枚
 ・長ネギ、キャベツの葉……………各50g
 ・餃子の皮……………1袋
 ・根ショウガ……………少々
 ・醤油……………大さじ1強
 ・ゴマ油、片栗粉、サラダ油…各大さじ2

【作り方】
 ①ソバの実を洗い、水に浸して煮る。煮立ったらザルにあげ、水洗いをしてアクを取り除き、もう一度たっぷりの水から煮る
 ②ニラ、シイタケ、長ネギ、茹でたキャベツをみじん切りします
 ③①と②に、醤油、ゴマ油(大さじ1)、片栗粉を加えて混ぜ、餃子の皮で包む
 ④フライパンで③の餃子を焼きます。焦げ目が付いたらゴマ油(大さじ1)と水(1/2カップ)を入れ蓋をして焼きます
 ⑤水が無くなったらサラダ油を入れて、カリッとなるまで焼いてできあがり

クリーンアップ運動

先日、わたしが六年生になって一回目のクリーンアップ

運動が行われました。ごみは、袋の半分も集まりませんでした。数年前から感じていたのですが、小軽米のごみが減ってきているのです。

小軽米小学校でクリーンアップ運動を体験し、卒業していった人が増えたからなのか、またはわたしたちの活動を知った地域の人たちがごみを道路に捨てないように注意してくれるようになったからなのか原因は分かりません。

でもわたしは、この調子で小軽米地区がもともとずっときれいになっていけば良いと思っています。



小軽米小学校6年(松ノ脇)
 かわしま めいこ
 川島 盟子さん

今月の俳句

北光吟社 七月例会句会

メリー吊り 嬰兒の眠る夏座敷
 古里裕子
 立秋の狭庭山萩おみなへし
 湊沢鉄馬
 廃校の白き紫陽花友侶ぶ
 川島由蔵
 山花の趣き東ね盆の花
 早川慶子
 刈り残す螢袋の一とところ
 三上千栄女
 麦刈りを終へて安堵の昼寝かな
 千葉紅園
 蜻蛉生る崩れかけたる萱葺屋
 中野とき
 二・三日暖房入れて梅雨寒し
 国久黄実
 山畑を目立たせ居りしそばの花
 永井きよの
 梅雨明けて稲の茎みな穂孕みて
 端川石造
 山川に海猫のぼり来るやませかな
 松村英子

古文書で見る 軽米の歴史

軽米の知行主
 その一・井上氏

井上氏の初代は、丹波の国(現在の京都府と兵庫県の一部)の生まれで、明智光秀に仕えていたが、天正十年光秀滅亡の時、浪人となった。その後、盛岡南部利直に召抱えられ、寛文五年、八戸南部初代藩主・直房とともに盛岡から八戸へ来た。禄高三百石であった。

83

元禄四年、二代目・半平は江戸留守居役、加判役となり石高六百石の加増となる。

井上氏三代目・主馬は江戸勤務であったが、勤め方が宜しくなかったため、四代目・百助が家督を継ぐとき三百石減らされ家禄は半分となった。この百助は長内源太夫の次男である。

五代目・半平は相続のときまた百石減らされ二百石となり、加判役を務めた。加判役在任中は五十石足高となった。半平は加判役退任とともに隠居を命じられ、五代目藩主・信興の子・万吉を養子とすることを命じられた。万吉七才、信興二十二番目の子である。万吉は伊織と名を改め、六代目藩主・信依のとき、天明二年に百五十石と加増になる。

井上氏百五十石

の知行地は、軽米五十五石、上館五十一石、江刺家四十二石。本町の井上鮮魚店さんはその後裔(子孫)である。

お知らせ
情報
Information遺言や契約書類など
公証相談会を開催

盛岡公証人会では、公証週間（10月1日から7日）に無料の相談会を開催します。遺言などの公正証書作成についてお気軽にご相談ください。電話による相談も受け付けています。

▶開催日時：10月1日(月)から7日(日)までの毎日、午前9時30分から午後4時まで

▶場所：盛岡公証人合同役場（盛岡市大通三丁目2-8 金属工業会館3階 ☎019-651-5828）

▶内容：遺言・相続、金銭・土地・建物などの貸借、慰謝料の支払いなどの公正証書の作成に関する相談

各種自衛官職員を募集しています

平成19年度の自衛官職員の募集を次のとおり受け付けています。
【申し込み・問い合わせ先】二戸募集事務所（☎23-2529又は☎080-5228-0131）

種 目	資 格	受付締切日	試験日
防衛大学校学生 防衛医科大学校	高卒（見込みを含む） で21歳未満	9月28日	11月10日、11日 11月3日、4日
看護学生	高卒（見込みを含む） で24歳未満	9月28日	10月14日
2等陸・海・空士 （男子）	18歳以上27歳未満	年間を通じて募集しています	
自衛隊生徒	17歳未満（男性のみ）	平成20年1月8日	平成20年1月12日
予備自衛官補 ※一般の方が訓練の後、予備自衛官（非常勤）になるコース	18歳以上34歳未満 ※技能分野は、技能に応じて53～55歳未満まで	10月15日	10月20日～22日のうち1日

税務相談の体制が変わります

【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）

国税に関するご相談は、平成19年11月1日から「電話相談センター」でお答えいたします。

◎二戸税務署：0195（23）2701

また、税について知りたいときには「国税庁ホームページ」

（www.nta.go.jp）でいつでも手軽に調べることができます。
なお面接による相談をご希望する方は、あらかじめ最寄りの税務署に相談の日時をご予約いただき、必要書類などを持参の上、お越しいただくようお願いいたします。

町税などの納期限
（10月1日まで）

- 国民健康保険税3期
 - 下水道受益者分担金
 - ・平成18年度賦課
19年度1期分
 - ・平成19年度賦課
19年度1期・全期分
- 早めに納付ください



早稲田大のサークル「だが生や〜遊びと学びのネットワーク〜」のお兄さんらが来て



ダンボールを使った隠れ家作りや遊びを教えてくださいました

土地家屋についての
無料相談会を実施

岩手県土地家屋調査士会二戸支部では、10月1日の「法の日」に、土地家屋についての無料相談会を開催します。土地の分筆、境界問題などお気軽にご相談ください。

▶開催日時：10月1日(月)
午前10時から午後3時まで

▶会場：二戸市シビックセンター

▶相談内容：土地の分筆・合筆
地目変更、建物の新築・増築・滅失、境界問題など

【問い合わせ先】岩手県土地家屋調査士会二戸地区事務局（☎46-2027）

若者の雇用を考える
フォーラムを開催

若者の雇用環境を考える雇用・労働フォーラムを開催します。アーチェリーのアテネオリンピック銀メダリストの山本博さんを講師に迎えた講演も予定されています。

▶開催日時：9月24日(月・祝)
午後1時30分～3時

▶会場：久慈市文化会館

▶参加費：無料

【問い合わせ先】ジョブカフェ久慈（☎0194-53-3344）



笹渡小中学校の体育館には迷路ができるなど、思う存分遊べる空間に早変わり

看護師資格を生かし
再就職への講習会

岩手県看護協会では、看護師資格をお持ちで、現在は未就業の方を対象に、職場復帰へ向けた無料の講習会を開催します。

▶期間：10月15日(月)～19日(金)

▶時間：午前9時～午後4時

▶会場：①講義…いわて県民情報交流センター（アイーナ）
②実習…盛岡市内の病院など

▶定員：30人

▶申込方法：はがきで9月28日(金)までに申し込みください

【問い合わせ先】(社)岩手県看護協会（☎019-663-5206）



思わず「イエイ」も飛び出すほど熱くなった1日でした

労災制度のご相談は
R I Cまでお電話を

(財)労災保険情報センター（R I C）では労災医療、労災補償など労災保険制度についてのご相談を受け付けています。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

▶相談用フリーダイヤル
0120-346-190

▶相談用ファクシミリダイヤル
019-622-5985

▶相談用メールアドレス
z03-iwate@rousai-ric.or.jp

【問い合わせ先】同センター岩手事務所（☎019-624-6190）

内科 休日当番医 歯科

川村医院 (☎23-3252)	二戸市福岡	9月16日(日)	堀米歯科医院 (☎46-2927)	軽米町本町
よこもり眼科クリニック (☎22-2230)	二戸市堀野	17日(祝)	阿部歯科クリニック (☎25-4182)	二戸市福岡
斉藤産婦人科医院 (☎23-2505)	二戸市石切所	23日(祝)	菅原歯科クリニック (☎23-1180)	二戸市福岡
おりそ内科・循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市福岡	24日(振)	三澤歯科医院 (☎23-2445)	二戸市福岡
二戸クリニック (☎25-5770)	二戸市石切所	30日(日)	こしみず歯科クリニック (☎33-4618)	一戸町一戸
すがわら消化器内科 (☎23-2879)	二戸市福岡	10月7日(日)	ぼっぱ歯科クリニック (☎31-1182)	一戸町一戸
金田一診療所 (☎27-2205)	二戸市金田一	8日(祝)	國香歯科医院・石切所 (☎23-2764)	二戸市石切所
むらかみ医院いたみのクリニック (☎48-1500)	軽米町岩崎	14日(日)	関歯科医院 (☎38-2937)	二戸市浄法寺

一時滞在地

戸籍の届出には全部で20種類以上ありますが、出生・死亡・婚姻の3種類で、1年間の届出の約7割を占めています。
これらの戸籍の届出をすることができるのは、本籍

【問い合わせ先】
役場・町民生活課（☎46-4735）

地、現住所地、そして一時滞在地の市区町村役場です。この一時滞在地とは、実家や、出産・死亡した時の病院、結婚式を挙げた式場の所在する市区町村をいいます。

図書館だより

— 今月の新着図書 —

【児童書】

「うたちゃんちのマカ」

作：柏葉幸子



おいたはずなのに、食べたはずなのに、うちの中で消えている？このふしぎ、だれのせい？岩手県出身の著者がおくる楽しいファンタジーの世界。

「はじめてのおもしろデータブック全5巻」

監修：羽豆成二

さまざまな切り口のナンバー1を、画面いっぱいの絵で楽しむシリーズ。調べ学習前の子どもたちが初めて出会うデータブックとして最適。



【一般書】

「赤ちゃんからの絵本ガイド」

監修：さわださちこ

ロングセラーから最新作まで、赤ちゃんから楽しめる絵本をテーマごとに紹介。発達に合った読み聞かせアドバイスなど、親子の「幸せ絵本生活」を応援！



「最後だとわかっていたら」

著：ノーマ・コネット・マレック

もし、明日が来ないとしたら・・・。
2001年9月11日、アメリカで起きた同時多発テロの後、世界中に配信された感動の詩。



図書館ひろば

◎日時：9月22日(土)
10:00～11:00
◎会場：旧生活文化博物館（町立図書館となり）
◎対象：小学生、幼児
参加をお待ちしています！

町のこよみ・かるまいカレンダー

9月 September

16	日	町消防演習【軽米中〜雪谷川河川敷】7:30〜 軽米秋まつり・軽米音頭流し踊り【町中心街】17:30〜
17	月	【敬老の日】 軽米秋まつり・お還り【町中心街】15:30〜
18	火	教育相談【公】9:00〜12:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00〜15:00（予約 ☎23-3111）
19	水	3歳児健診【ふ】13:00〜13:30受付 H16年3月〜6月生まれ対象 いちい荘敬老会【いちい荘】10:30〜
20	木	あのなっす相談所【老】10:00〜15:00
21	金	秋の全国交通安全運動（〜30日）
22	土	図書館ひろば【旧生活文化博物館】11:00〜 にこにこ広場【軽米保育園】9:30〜11:30
23	日	【秋分の日】 夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】〜25日
24	月	【振替休日】
25	火	教育相談【公】9:00〜12:00
26	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00〜12:00
27	木	うまっこ教室【ふ】9:30〜12:00 あのなっす相談所【老】10:00〜15:00
28	金	
29	土	幼児歯科検診【ふ】13:30〜14:00受け付け
30	日	

10月 October

1	月	就業構造基本調査日 町税の納期（国民健康保険税3期）
2	火	こころの相談【ふ】14:00〜15:30 教育相談【公】9:00〜12:00
3	水	乳児健診【ふ】13:00〜13:30受付 H18年11月、H19年2月、5月、7月生まれ対象
4	木	あのなっす相談所【老】10:00〜15:00
5	金	
6	土	少年野球教室【ハ】8:30〜（〜7日）
7	日	第29回町総体・町民体育祭【ハ】 町民健康まつり【ハ】
8	月	【体育の日】 第10回町学童野球秋季交流大会【ハ】
9	火	教育相談【公】9:00〜12:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00〜15:00（予約 ☎23-3111）
10	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00〜12:00
11	木	あのなっす相談所【老】10:00〜15:00
12	金	健康ふれあいゲートボール大会【ゲ】
13	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30〜11:30
14	日	第25回町ロード・レース大会【役場発着】9:00〜
15	月	

（カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します）

体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・スポーツランド
運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行／岩手県軽米町 編集／総務課
（毎月第2水曜日発行）

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

7月下旬から8月にかけて作業が行われたブルーベリーの収穫。畑中丑之助さん（写真）の農園には10数種類もの品種が育てられ、中には思わず唾が出てしまうほど酸味のあるものやとっても甘いものもあります。一粒一粒丁寧に摘み取られる実は、採りたてはみずみずしく、また冷凍してシャーベット状にしたものも暑い夏にはぴったりの果物。夏の厳しい日差しが照りつける中、収穫作業は佳境を迎えていました。（写真は8月12日の収穫作業）



冠婚葬祭 7月届出分

＜敬称略＞

おめでた

ほそやちみお
貝 喰 細谷地美緒（光則）
たけさわえま
仲軽米 竹澤依真（友彦）
さかわきめろ
門 前 坂脇夢露（寿孝）
いどぶちまなと
屋敷 井戸渕愛大（春樹）
がもうあかり
蓮台野 蒲生朱里（智明）
やまのしたはすみ
貝 喰 山野下華涼（正彦）
よこいなお
向川原 横井内七生（竜彦）

{ 於本勝彦（大沢）
菖蒲澤愛子（河北）

おくやみ

車門 菅原タキ（94歳）
内城 安藤ヤエ（91歳）
中村 十文字トシ（75歳）
百目金 中野岩雄（62歳）
荒町 竹澤清（77歳）
長倉 江刺家キヨミ（82歳）
内城 内城ノブ（81歳）
門前 大鳥ミヨ（82歳）

おしあわせに

{ 竹花大輔（大町）
柴田真由美（一戸町）

●人の動き ＜平成19年7月31日現在／町民生活課調べ＞

男 5,509人（-4）／女 5,717人（-3）

合計 11,226人（-7）／世帯数 3,741（-4）

※（ ）は前月比

転入 14人（123人）／転出 19人（222人）

出生 7人（42人）／死亡 9人（101人）

※（ ）は1月からの累計

ほつとひといき／編集後記

酷暑日を記録した8月12日、最高気温が35度に到達。そんな中安全運転を訴えた南郷区との合同キャンペーンは10回目を迎え、翌々日には死亡事故ゼロ1年間も達成。関係者の皆さんの地道な努力と安全運転のたまものです。

秋の足音がひたひたと近づくこの頃、夕暮れは早くなり、そろそろ長袖が欲しくなる季節になりました。何となく寂しい気持ちにもなることも。今年の冬は厳しい寒さか豪雪か。おっとその前に味覚の秋を楽しみましょう（義信）